

教科	美術	履修学年	第2学年	指導時間	35 単位時間	担当者	小田 繁
使用教科書	光村図書 美術 2・3 上[美術の広がり] 美術 2・3 下[美術の力]	補助教材	感じる 表す 美術資料 (浜島書店)				
目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。						
評価の観点	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力		創造的な技能		鑑賞の能力	
趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を高めるために、主体的に学習に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、対象を深く見つけ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に独創的で豊かに発想し、形や色彩などの効果を生かし、心豊かで創造的な表現の構想を練っている。		感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考えたりするなどし、創意工夫して創造的に表している。		感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わったり生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などについての理解や見方を深めたりしている。	
評価資料	○スケッチブック (ポートフォリオ) ○授業の様子 ○自己評価表	○作品 ○アイデアスケッチ ○テスト		○作品 ○テスト		○自己評価表 ○まとめ、感想 ○テスト	

指導計画

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準			
4	空想の世界を旅する (ヴィーナスの夢) (記憶の固執) 上P8	1	○現実にはない世界を想像によってつくりだす美術の働きに目を向け、平面や立体で表現する。夢や物語から発想したり、偶然性を生かした表現技法などを活用する方法を身につけ、イメージをあらわすために自分の方法を見つめる。	美術への関心・意欲・態度	・想像を膨らませてイメージをつくりだすことに関心をもつことができる。(ポートフォリオ、ワークシート、授業の様子)		
		2	○モダンテクニックを中心とした、平面表現における多様な技法を学ぶ。		発想や構想の能力	・夢や物語などから自由にイメージを広げられることができる。(作品、アイデアスケッチ、テスト)	
	5	平面に関する技法と用具 上P40～41, 10～11		言語活動 偶然性を生かした表現や夢や想像の世界の鑑賞を行い、技法名を挙げながら、形や色彩、材料などの性質がもたらすおもしろさや不思議さなどについて自分の感じたことを伝える。	創造的な技能	・偶然の効果や技法を組み合わせると効果的にあらわせることができる。(作品、テスト)	
				鑑賞の能力	・あらわされた不思議な世界や表現の工夫を話し合うことができる。(ワークシート、まとめ・感想、テスト)		
6	イラストレーション 上P26～27	5	○未来の科学の夢のイラストレーションを描き、空想の世界を表現する楽しさを味わう。資料を集め、決めたテーマや伝えたい内容にふさわしい構成や配色、言葉などを考えてイラストレーションに表現する。	美術への関心・意欲・態度	・表現する喜びを味わいながらイラストレーションの制作ができる。 ・多くの人に使いやすくデザインされているものを探ることができる。(ポートフォリオ、ワークシート、授業の様子)		
			1		○工業デザイナーが独創的なものをつくり出す根底にある、人の命への思いや、構想を形にする過程などをインタビューと作例を通して知る。デザインにおける発想や構想のプロセスに、より積極的に取り組めるようにする。	発想や構想の能力	・想像力を働かせてイラストレーションの構想を練ることができる。 ・使いやすさについて話し合いながら構想を練ることができる。(作品、アイデアスケッチ、テスト)
	みんなのためのデザイン 下P24～25 期末テスト	3	○身の回りの生活用品や公共施設のデザインについて、使いやすさや安全性などの観点から評価し、より多くの人々が快適に使えるデザインの特徴について学ぶ。また、握力の弱い人でも使いやすいデザインなど、課題を設定して独自の製品を構想し、図や模型などを用いて発表し、話し合う。	創造的な技能	・形や色彩の性質や、それらがもたらす感情などの働きを意識しながらイラストレーションを制作することができる。(作品、テスト)		
7		1	言語活動 日用品や公共施設の工夫について、形や機能に着目して調べ、具体例を挙げながら情報を整理、発表する。	鑑賞の能力	・作品の意図を形や色、文字などから読み取ることができる。 ・工夫したことをまとめ、発表することができる。(ワークシート、まとめ・感想、テスト)		
			8	○美をつくりだそうとする人間の心、美と感情、美の多様性や永続性などについて、自分の経験から思いをめぐらせ、考えを深めていく出発点とする。「阿修羅像」について意見を交換し合うことにより、他の生徒の考えにも関心をもち、互いに作品の見方を深めていくことの意義を体験する。	美術への関心・意欲・態度	・日本の美術や伝統と文化に対する理解を深めることができる。(ポートフォリオ、ワークシート、授業の様子)	
9	感じたことを話し合おう (近代建築) (アニメーション) 上P2～3	1学期小計 (13)		発想や構想の能力			
		2		創造的な技能			

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準	
10	立体に関する技法と用具 木彫(木彫壁飾り) 上P42～43, 34～35	12	言語活動 「阿修羅像」の表情や腕のしぐさ、色彩などから生じる感情や、特徴から捉えたイメージなどを明確にし、作品に対する自分の価値意識をもって話し合う。	鑑賞の能力	・作品を見て感じ取ったことを話し合うことができる。 (ワークシート、まとめ・感想、テスト)
			美術への関心・意欲・態度	・工芸品に見られる季節感や自然の美の魅力に気づくことができる。 (ポートフォリオ、ワークシート、授業の様子)	
			発想や構想の能力	・目的や条件に合った形や色などを使って発想を広げることができる。 (作品、アイデアスケッチ、テスト)	
			創造的な技能	・材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫することができる。 ・材料の特性を知り、全体の仕上がりを意識してつくることできる。 (作品、テスト)	
11			言語活動 工芸品の鑑賞を通して、形や色彩の性質とそれらがもたらす感情を生かしてがどのように生かされているのか、既習事項と照らし合わせて考えをまとめる。	鑑賞の能力	・自然や季節感がどのように取り入れられているか話し合うことができる。 (ワークシート、まとめ・感想、テスト)
12	東西の空間表現 (最後の晩餐) 下P46 期末テスト	1	○絵画鑑賞において重要な観点の一つである空間表現について、東洋と西洋のそれぞれの伝統の中で発展した表現方法について理解を深め、多様な価値観を尊重するとともに、今後の自主的な美術鑑賞の基礎となる知識や見方を身につける。	美術への関心・意欲・態度	・興行きや空間の表現に注目することができる。 (ポートフォリオ、ワークシート、授業の様子)
		1		発想や構想の能力	
		2学期小計 (16)		創造的な技能	
1			言語活動 西洋と東洋の絵を比較し、空間表現について形の大小や色彩の濃淡の変化、視点の変化などに着目して鑑賞させ、それぞれの特徴について話し合わせる。	鑑賞の能力	・西洋と東洋の表現の違いや特徴について調べることができる。 (ワークシート、まとめ・感想、テスト)
2	立体カード 1年P30～31 学年末テスト	5	○身近な人を喜ばせたいという気持ちを基に、形・色彩・材料や動く仕組みなどを工夫して名刺や飛び出すカード、形の工夫された手紙、メッセージボックスなどをつくる。	美術への関心・意欲・態度	・気持ちを形や色にあらわして伝えることに興味をもつことができる。 (ポートフォリオ、ワークシート、授業の様子)
		1		発想や構想の能力	・受け取る相手の気持ちを考えて、構想を練ることができる。 (作品、アイデアスケッチ、テスト)
		3		創造的な技能	・紙の特徴を生かし、工夫してあらわすことができる。 (作品、テスト)
		3学期小計 (6) 合計 (35)	言語活動 気持ちを伝えるデザインの鑑賞を通して形や色彩、材料などの性質に着目させ、制作後のまとめをおこなう。	鑑賞の能力	・つくった作品を身近な人に渡し、交流を深めることができる。 (ワークシート、まとめ・感想、テスト)
先生からのアドバイス	学習の進め方 (学習方法、学習形態等)	・年間を通して、デザイン的な分野が主な学習内容となっています。 ・色や形を効果的に用いて、機能性や美しさを追及する学習内容となります。 ・普段から雑誌や広告、身近な物をにこめられた作者の思いや工夫を感じ取る努力をしておくといでしょう。			
	学習上の留意点 受講上の注意	・学習においては、ワークシートの記入や提出された作品を中心に評価を行います。 ・授業の準備や片付けの状況も含めた授業時間の過ごし方も見ていきますので、最初から最後まで気を抜かないようにがんばりましょう。 ・自分の身の回りの整理整頓も、効率的な作業を行ってよりよい作品をつくるために必要なことですから、気をつけましょう。			